

骨子案への主な意見

1. 「今後10年を見据えた杉並が目指す教育」について

タイトルを共に支え共に創る「学びのまち・杉並」というのはどうか。

「いいまちは～」という言葉タイトルの下に置いているが、タイトルとの整合性はいかがか。

2. 「目指す人間像」について

【育みたい力】の5「持続可能な社会」の意味がわかりづらい。もっとわかりやすい、具体性のある言葉にするべき。

【育みたい力】の1、3、4の全てに関わるが、「伝える力」あるいは「表現する力」も入っていたら良いのではないか。

【育みたい力】の1～4を「次代を共に支えていく4つの力」とし、5の「持続可能な～」をリード文とした方がすっきりするのではないか。

【育みたい力】に、力というように、括弧書きでもいいので、一言で言えるものを付け加えてもいいのかもしれない（コミュニケーション力、意思決定力、人間関係形成力、将来設計力）。

対応案

起草の中で、取り込む予定

基本目標を実現していくためのベースとなる理念であり、原案通りとしたい

起草の中で、取り込む予定

起草の中で工夫する

原案通りとしたい

起草の中で工夫する

【育みたい力】の3「・・・好奇心を高める力」は、感性、感動から文章的に繋がらないのではないかと。

意見を反映し、この部分は骨子からは削除。ただし、起草の中で「好奇心」について触れる予定

3. 「目標達成に向けた取組みの基本的視点」について

「循環」がわかりにくい。この表に書き込む必要はないが、どこかに具体例を示した説明がほしい。

起草の中で、取り込む予定

インクルーシブな教育は、学校だけでは難しい。インクルーシブなコミュニティができて実現する。「かかわり」「つながり」がインクルージョンを表すキーワードになってほしい。

起草の中で、取り込む予定

教育政策は総合的に立案・実行する時代なので、教育政策と福祉政策（児童福祉・母子保健等）とのリンクについての言及が必要かもしれない。

最終章「実現に向けて」に記載する。

4. 「取組みの基本的方向」について

「地域とともに歩む」というのがわかりにくい。地域とともに変化するのか、付属しているのか、それは「何」なのか、どこかに解説がほしい。

起草の中で、取り込む予定

「新たな公共空間」としての教育基盤とは、何を意味しているのか分かりにくい。具体例をあげないとイメージできない言葉である。

起草の中で、取り込む予定

5. 「取組みの基本的方向」の具体的な項目について

「小中一貫教育」には、特別支援教育も必ず含まれるものである。その意味で、2番目には、「自立と社会参加」「共生社会」の実現を目指す特別支援教育の推進」を載せてほしい。今後10年の中では、インクルーシブ教育が一般的用語になっている可能性もある。

起草の中で、趣旨を反映していきたい

6. その他

インクルーシブ教育について
「インクルーシブ教育」という言葉を盛り込むことはできないか。定義が確立されていない用語ではあるが、今後10年において、大きな課題となることは確かである。もし入れるとしたら杉並区としての定義が必要かもしれない。

あるいは、「目標達成に向けた取組みの基本的視点」の「かわり、つながりの重視」の部分か、「取組みの基本的方向」の具体的な項目の部分で、「多様な区民、ニーズのある区民が積極的に学校・地域の活動に参加・アクセスすることができるしくみづくり」といった意味合いのことを入れるのはどうか。

起草の中で、趣旨を反映していきたい

もしくは、「誰でも学校や地域の活動に参加・アクセスできること、そしてニーズのある人・困っている人には支援の提供を保障すること」といった内容を少し盛り込むのはどうか。障害のある人、外国人、不登校、心が不安定な人など、ニーズのある人が読んで、「あ、自分達も地域の一人なんだ。困っていたら助けてくれるんだ。自分も参加できるんだ。」と思えるような、そんな文章があるとよい。

ニーズのある人、困っている人に対して支援を提供することは、教育の根本にあるべきことであり、支援がなければ教育に繋がらない可能性が高い。支援を提供することは、学ぶ環境を整えることの一つだと捉えている。どのようなニーズがあっても、学校や地域において、支援を提供する姿勢が基盤としてあることが、ビジョンの中に位置づけられていたら、心強いのではないか。

7. イメージ図について

この図が、「循環」を現しているのだろうか？「なに」が「循環」しているのかがわかるとよいのではないか。

学校を核とした新たなコミュニティの形成とのことだが、やはり学校が中心になるのだろうか。学習主体が子どもだけのように見えてしまうので、生涯学習の感じがもう少し出るとよい。

コミュニティについて

コミュニティとは、地図的に分けられ地域に根差したものと、共通の目的をもった集団、の2つの意味合いを持った言葉である、との共通認識が必要である。また、安心・安全を確保できる場でもある。

学校づくりについて

学校づくりには、学校教育の充実、学校を拠点とするコミュニティの形成、の2つに視点がある。